ADONIS

FX-8000

★★光ワイヤレスＰＴＴモービルマイクロホン★★

１２Ｖ用　ＦＭ　ＳＳＢ共用

● 安全運転をお約束する光ワイヤレスＰＴＴ方式

- 送受信切り換えスイッチがワイヤレス方式なので、ハンドルから手を放さず送受信の切り換え操作ができます!!
- 光送受信操作部からでも受光部スイッチボックスからでも送受信の切り換え操作可能！
- 受光部スイッチボックスはＰＴＴ／ＬＯＣＫ／ＵＰ／ＤＯＷＮ各スイッチおよび送信表示ランプ(ＬＥＤ)付!!
- フレキシブルマイクはサンバイザーと共締め
- 出力可変ボリューム付でマイク感度調整可能！
- マイク変換コード方式の採用により、各社無線機に対応(弊社製別売）

● 電源供給型マイク変換コード対応

- 車載バッテリー(DC12V)又は無線機のマイクコネクターのどちらからでも電源供給が可能!!

※無線機のマイクロホン端子から、マイクに電源を供給している無線機にご使用の場合は、電源供給型マイク変換コード”Ｄシリーズ”(弊社製別売)で接続すると、電源供給線の配線が不要。

● 警報音付き無変調防止回路の採用

- 連続送信になれば無変調防止回路が動作し、警報音が鳴った後、自動的に受信に戻ります。

《FX-8000 仕様》

- 単一指向性
  エレクトレットコンデンサーマイクロホン･･･１
- フレキシブルパイプ･･･････････φ８(全長 28cm)
- マイクコード･･･････････････････････３m
- 受光部スイッチボックスコード･･･････････３m
- 入出力コード･･･････････････････１０ｃｍ
- 適合出力インピーダンス･･･････500Ω～50kΩ
- 出力電圧･･･････････････････････0～50mV
- 電源電圧
  電源供給線(赤色線)にて供給の場合
  ･･･････････････････････DC12～１５Ｖ
  マイク変換コード(Ｄシリーズ)にて供給の場合
  ･･･････････････････････DC５～１０Ｖ
- 本体アンプボックス部形状
  ･･･････････････90(H)Ｘ50(W)Ｘ２５(D)mm
- 重量　２００ｇ

ADONIS

FX-8100

光ワイヤレスＰＴＴモービルマイクロホン　　取扱説明書

このたびは ㈱アドニス電機のモービルマイクロホンＦＸ－８１００をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
このＦＸ－８１００は、光ワイヤレス方式ＰＴＴおよび警報音付無変調防止機能を備えた、単一指向性高性能モービルマイクロホンです。ご使用に際しましては、本製品の性能を十分発揮させていただく為この説明書をよくお読みいただき、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は保証書と共用になりますので、お読みになった後も大切に保管してください。

★　いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください　★

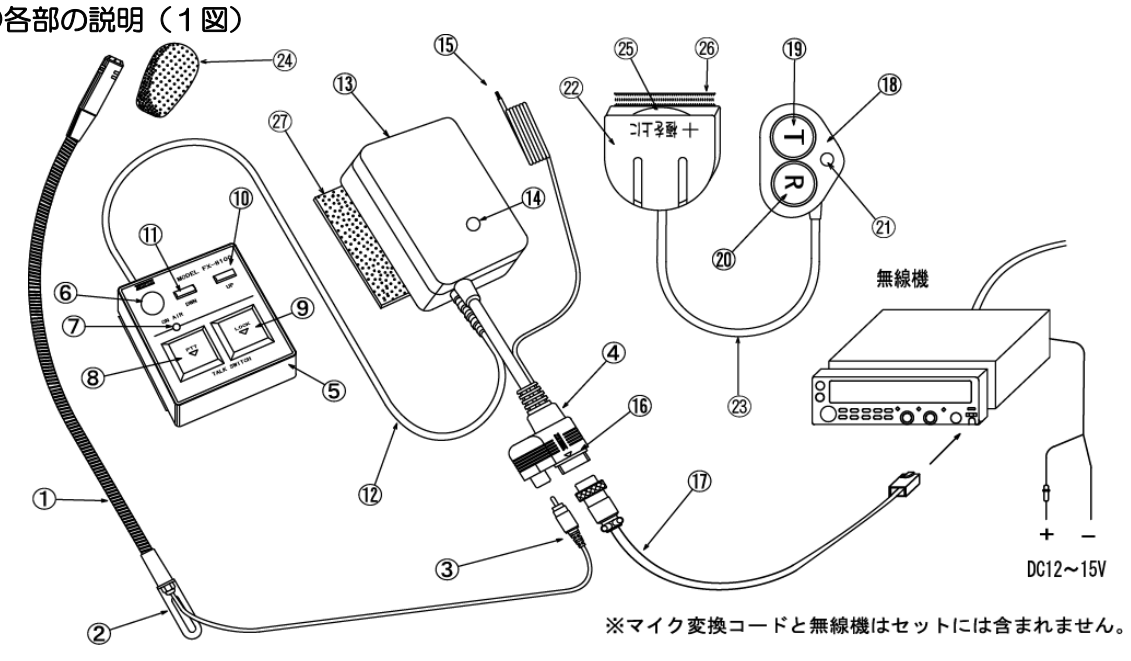
⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠警告　本製品は車の運転の妨げならない場所に取り付け、製品がはずれたり、コード類がハンドルに絡まったりしないようにしてください。
⚠警告　指定の電源電圧以外で使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
⚠警告　電源コードや接続コードを傷つけたりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
⚠警告　改造、分解したり修理はしないでください。火災、感電、故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店または、弊社にお申しつけくださいますようお願いいたします。

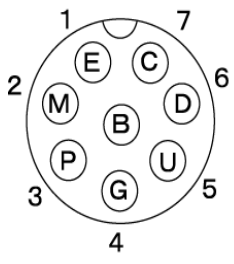
⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。

⚠注意　コード類は無理に引っ張ったり巻き付けたりしないようにしてください。ショート、故障の原因となります。プラグやジャックを抜き差しするときは、プラグやジャックを持っておこなってください。
⚠注意　フレキシブルマイクのフレキシブルパイプは、無理に曲げたりしないでください。けが、故障の原因となります。
⚠注意　製品は水に濡らしたり、水に濡れる場所への取り付けはしないでください。ショート、故障の原因となります。
⚠注意　製品は緊急通信や非常通信用途には設計されておりませんのでご承知おきください。

◎各部の説明（１図）



（８Ｐ中継ジャック）



①Ｅ:アース(マイク信号用)･･･シールド
②Ｍ:マイク信号･･･････････････黄
③Ｐ:ＰＴＴ(プレストーク)･･･赤
④Ｇ:アース(ＰＴＴ用)･･･････紫もしくは青
⑤Ｕ:ＵＰ(アップ)･･･････････緑
⑥Ｄ:ＤＯＷＮ(ダウン)･･･････白
⑦Ｃ:Ｕ／Ｄコモン･･･････････橙
⑧Ｂ:ＤＣ供給(＋極)･･･････灰

①フレキシブルマイク
②止め金具
③ピンプラグ付きマイクコード
④入出力コード
⑤受光部スイッチボックス
⑥受光窓
⑦送信表示ランプ（ＬＥＤ）
⑧ＰＴＴスイッチ
⑨ＬＯＣＫスイッチ
⑩ＵＰスイッチ
⑪ＤＯＷＮスイッチ
⑫インターフェースコード
⑬コントロールボックス
⑭出力調整用ボリューム穴
⑮電源供給線
⑯８Ｐ中継ジャック
⑰マイク変換コード（弊社製別売）
⑱送受信操作部
⑲ＴＸボタン
⑳ＲＸボタン
㉑赤外線発光部
㉒光送信器電池ケース
㉓渡り線

―――付属品―――
㉔風防
㉕コイン型リチウム電池
（ＣＲ２０３２型）
㉖電池ケース取り付け用マジック
テープ
㉗コントロールボックス取り付け用
マジックテープ

◎取り付け方法および接続方法

- ●①フレキシブルマイクの②止め金具を、サンバイザーと共締めするか、運転の妨げにならない適当な場所へ工夫して取り付けてください。（付属の㉔風防を①フレキシブルマイクに付けてご使用ください。）
- ●⑱送受信操作部はハンドルを握った状態で操作がし易く運転の妨げにならないハンドル表側の平坦な場所へ、貼り付ける場所の汚れをよく落としてから、裏の両面テープの剥離紙をはがして貼り付けてくだい。（パッケージ表参照）㉒光送信器電池ケースに付属の㉕コイン型リチウム電池をセット（３図左）し、ハンドルの裏側の適当な場所に付属の㉖電池ケース取り付け用マジックテープを使用して貼り付けてください。㉓渡り線はハンドルに密着させ、手が引っかかったりして運転の妨げにならないようにしてください。

⚠ 警告 **危険ですのでホーンスイッチやエアーバッグの上には取り付けないでください。**

- ●⑬コントロールボックスは、付属の㉗コントロールボックス取り付け用マジックテープを使用して、固定したい場所に取り付けてください。
- ●⑬コントロールボックスから出ている④入出力コードのピンジャックに、③ピンプラグ付きマイクコードを差し込んでください。
- ●ご使用の無線機に適合した⑰マイク変換コード（弊社製別売）を、④入出力コードの⑯８Ｐ中継ジャックと無線機の間に接続してください。⑰マイク変換コードには方向性がありますのでご確認の上、間違わないように接続してください。
- ●⑮電源供給線は、無線機の電源の＋側［12～15V］に接続してください。※無線機のマイクロホン端子に電源［ＤＣ５Ｖ～９Ｖ・５０ｍＡ］を供給している無線機をご使用の場合は、電源供給型マイク変換コード“Ｄシリーズ”（弊社製別売）で接続すると、⑮電源供給線の配線が不要になります。
- ●⑤受光部スイッチボックスの取り付けは、運転席パネルのハンドルの後ろあたりか中央部に⑥受光窓が運転者の方向を向くようにし、㉑赤外線発光部からの赤外光が運転者に反射して受光でき、⑱送受信操作部から送受信の切り替えが安定で操作のし易い場所に、裏の両面テープの剥離紙をはがして貼り付けてくだい。（パッケージ裏図参照）

  直射日光の当たる場所では動作しなかったり、動作が不安定になる場合があります。

◎ご使用方法

- ●⑱送受信操作部から送受信の操作をおこなうには、⑲ＴＸボタンを押すと送信になります。送信に切り換わると⑬コントロールボックスから「ピ」という短音が鳴り送信になった事を知らせ、⑦送信表示ランプが点灯します。受信に戻すには⑳ＲＸボタンを押します。ボタンを押すと「ピー」という長音が鳴り受信に戻ります。操作時に㉑赤外線発光部を塞がないよう注意してください。
- ●⑤受光部スイッチボックスで送受信の操作をおこなうには、⑧ＰＴＴスイッチを押してください。スイッチを押している間だけ送信になり、放すと受信に戻ります。連続送信したい場合は⑨ＬＯＣＫスイッチを押してください。連続送信を解除して受信に戻すには⑧ＰＴＴスイッチを押してください。
- ●⑩ＵＰスイッチおよび⑪ＤＯＷＮスイッチは無線機に付属のマイクロホンのＵＰ・ＤＯＷＮスイッチと同じ動作をします。
  （詳しくは、無線機の取扱説明書をお読みください。）
- ●①フレキシブルマイクの先端部から口元までの距離が１０ｃｍ以内になるようにしてお使いください。
- ●出力レベルは、適正なレベルになるように調整されていますが、変調が深すぎたり浅すぎたりする場合には、下記の要領にて適正なレベルになるように調整してください。

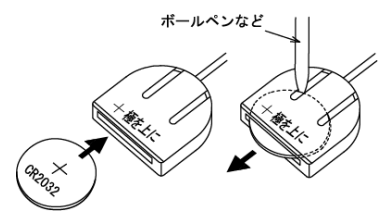
  ⑭出力調整用ボリューム穴に小型のマイナスドライバーを差し込み、ローカル局にモニターしてもらいながら２図に表示してある回転範囲内を静かに回して調整してください。ボリュームを右（時計回り）に回すと出力は増加し、左（反時計回り）に回すと減少します。左右に約９０度しか回りません。回し過ぎますと、破損するおそれがありますので十分注意してください。

◎出力調整方法（２図）

◎コイン型リチウム電池の交換方法

⑱送受信操作部から操作ができなくなった場合、電池が消耗していますので、次の手順で交換してください。
（ア）ボールペンなどの先の尖った物で、左右交互に溝に沿って（３図右）電池を押し出して取り出してください。
（イ）⑲ＴＸボタン又は⑳ＲＸボタンを数回押してください。
（ウ）新しい電池（ＣＲ２０３２型）の極性をよく確かめ、＋極が上になるように挿入してください。
※ご注意：指定の電池（ＣＲ２０３２）以外は絶対に使用しないでください。

◎電池の出し入れの方法（３図）



◎無変調防止回路について

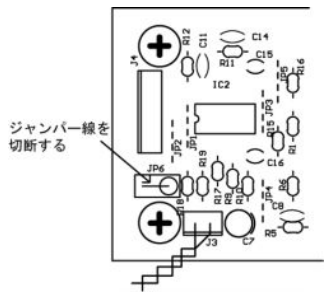
誤って送信のままにしてしまったり、通常の交信においても、送信時間が約２分３０秒続けばアラーム音で長時間の送信状態であることを知らせ、アラーム音が約３０秒鳴った後、自動的に受信に戻ります。送信を継続したい場合は⑲ＴＸボタンを押すか、⑨ＬＯＣＫスイッチを押してアラームを解除してください。

［無変調防止回路を動作させたくない場合］

次の手順の変更をおこなうと無変調防止回路が動作しません。

- ●⑬コントロールボックスの蓋の４本のネジを外し、中の基板が見えるようにして、基板上の抵抗型ジャンパー線（４図矢印）「ＪＰ６」を切断してください。

◎無変調防止回路の停止方法（４図）



◎回り込みについて

ローパワーで送信すれば正常であるのに、ハイパワーで送信した場合に変調が異常になったりパリパリという音が混入したり、その他の雑音（マイクから直接入るエンジン音ではありません）が増すことがあります。その場合アンテナと同軸ケーブルの調整が悪く、定在波がマイクコードに乗ることが考えられます。従ってマイクコードの引き回し方を変えると良くなることがあります。特に同軸ケーブルと平行にしないようにしてください。また、アンテナと無線機とのＳＷＲをチェックしてみてください。

★ご注意とお願い★

- ● 弊社製以外のマイク変換コードを使用すると正しく動作しない場合がありますので、必ず弊社製を使用してください。弊社製以外の変換コードのご使用によるトラブル・故障等につきましては一切の責任を負いませんのでご了承ください。
- ● ご使用になるトランシーバーおよびアンテナの取付方法および場所、取扱電力等によって、回り込みを起こして、ご使用になれない場合がありますのでご了承ください。
- ● マイクロホンには必ず風防を取り付けて使用してください。
- ● 直射日光のあたる場所や高温になる場所での使用および放置は、変形・変質を招き本製品に悪い影響を与えますので工夫して高温を避けるようにしてください。
- ● 性能改善のため、予告なく仕様デザイン等を変更する場合があります。

★アフターサービスについて★

お買いあげいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが万一運搬中の事故などに伴い、ご不審な箇所または破損などのトラブルがありましたら、お早めにお買いあげいただいた販売店、または弊社に保証書を添えてお申しつけくださいますようお願いいたします。